

国語（中学生） 古文①徒然草「仁和寺にある法師」

1. 徒然草 第五十二段「仁和寺にある法師」

仁和寺にんなじにある法師、年寄るまで、石清水いわしみずを拝まざりければ、心うく覚えて、ある時思ひ立ちて、たゞひとり、徒歩かちよりまうでけり。極樂寺・高良などを拝みて、かばかりと心得て歸りにけり。さて、かたへの人にあひて、「年比としごひ思ひつること、果たし侍りぬ。はべ聞きしにも過ぎて、尊くこそおはしけれ。そも、参りたる人ごとに山へ登りしは、何事かありけん、ゆかしかりしかど、神へ参るこそ本意ほんいなれと思ひて、山までは見ず」と言ひける。

すこしのことに、先達せんだちはあらまほしき事なり。

仁和寺にいた、ある法師が、年をとるまで石清水八幡宮をお参りしたことがないことを情けなく思い、ある時思ひ立ち、一人、徒歩でお参りにいった。（山麓の極樂寺と高良神社をお参りし、（八幡宮へのお参りはこれだけだと思ひ込み歸路の途についた。帰った後、傍輩に向って、「ずっと（心に）思っていたこと（八幡宮へのお参り）を果たせた。聞いていた以上に尊さ（八幡大神の御神威）を感じた。ところで、他の参詣者が皆、山へ登っていったが、何か山上にあるのだろうか。行ってみたいとは思ったが、お参りすることが本義であるからと思い、山上までは見に行かなかった。」と言った。

小さなことにも、案内者（指導者）は欲しいものである。

■ 単語を覚えましょう

心うし (情けない)

かばかり (これだけだ)

心得こころう (理解する)

年ごろ (長年)

侍り (ございます) 【丁寧語】

ゆかし (見たい・聞きたい・知りたい)

あらまほし (あってほしい、理想的だ)

■ 係り結びを指摘してください。係り結びによって、どんな感じが加わりますか。

■ 丁寧語「はべり」は、どのように訳すると伝わりますか。

2. 新聖歌486 「やがて天にて」・・・現代語に訳してみましよう

一、御国に住まいを備えたまえる 主イエスの恵みをほめよたたえよ

()

*やがて天にて 喜び樂しまん 君にまみえて 勝ち歌を歌わん

()

二、浮世のさすらいやがて終えなば 輝く常世(とこよ)の御国に移らん

()

*

三、もろとも勤しみ 励み戦かえ 栄えの主イエスに まみゆる日まで

*

四、目標(めあて)に向かいて 馳せ場を走り 輝く冠を 御殿(みとの)にて受けん

() *